

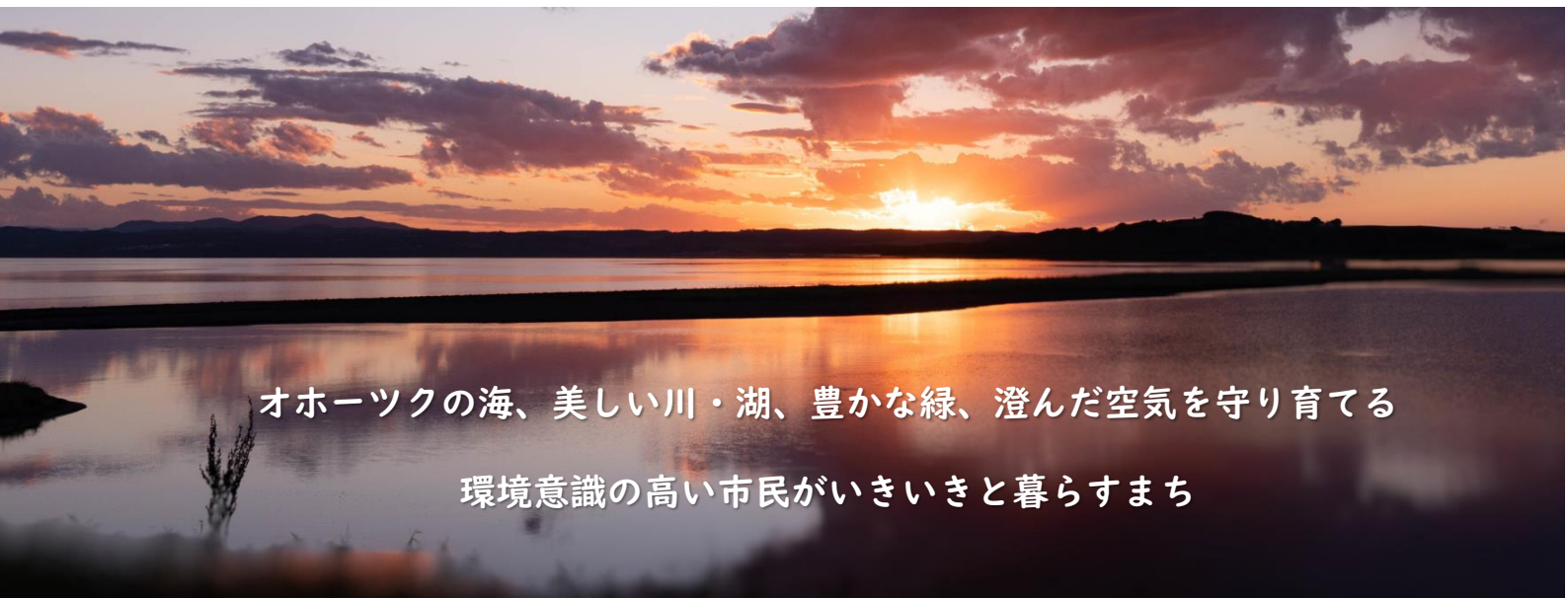


写真：ウニ漁

第2章 望ましい環境像

1 将来像

網走市環境基本条例の基本理念などに基づき、次に示す「将来像」と「基本目標」を市民、事業者、市の連携と協力によって実現をめざし、網走の望ましい環境像とします。



オホーツクの海、美しい川・湖、豊かな緑、澄んだ空気を守り育てる
環境意識の高い市民がいきいきと暮らすまち

「オホーツクの海、美しい川・湖、豊かな緑、澄んだ空気を守り育てる」とは

網走の豊かな環境を守り、悪い部分は改善することで、理想としては世界に誇れるような環境づくりを進め、よりよい網走になっていくという意味が込められています。

「環境意識の高い市民がいきいきと暮らすまち」とは

網走の豊かな環境を、自信をもって次世代へ引き継ぐことができるように、市民が高い環境意識をもちながら、いきいきと暮らすことで、世界に発信できる環境のまちをめざすという意味が込められています。

2 基本目標

将来像を実現していくために、次の5つの基本目標に基づき、環境の保全と創造に関する施策を展開していきます。

また、これらの基本目標に関連するSDGsの17の目標を示しています。網走市の環境から世界の課題を考え、行動につなげ、世界に発信できる環境のまちづくりにつなげることを目指します。

①ゼロカーボンで持続可能なまち

省エネルギーや再生可能エネルギーの導入を推進することで、二酸化炭素を実質排出しない、ゼロカーボンで持続可能なまちをめざします。



②資源が循環するまち

市民の生活様式（ライフスタイル）の見直しを進めながら、ごみの減量化、再利用、再生利用を図ることで、資源が循環するまちをめざします。



③人と自然が共生するまち

湖沼、河川、海辺、森林といった網走の多様な自然環境と、人の暮らしのバランスをとりながら、人と自然が共生するまちの実現をめざします。



④空気と水がおいしいまち

市民の生活環境の汚染を防ぎ、安心して楽しく暮らせる、空気と水がおいしいまちをめざします。



⑤網走の文化と環境意識が根付いたまち

網走の歴史と文化を大切にしながら、緑豊かで美しいまちづくりと、環境の学びを深め主体的に取り組むひとづくりを進め、網走の文化と環境意識が根付いたまちをめざします。



表 2-1 計画の構成

ゼロカーボンで持続可能なまち	省エネルギーを徹底する
	再生可能エネルギーをつくる・使う
資源が循環するまち	ごみを減らす
	資源を大切に使う
人と自然が共生するまち	網走の水辺を守る
	網走の森を育てる
	網走の生き物の多様性を守る
空気と水がおいしいまち	おいしい空気を守る
	おいしい水を守る
	公害を防ぐ
網走の文化と環境意識が根付いたまち	緑豊かな美しいまちをつくる
	網走の歴史と文化を守る
	環境について学ぶ機会を増やす
	市民、事業者、市が連携する